5月22日水曜日、晴。美浜町での出発集会と平和行進が行われました。出発集会前に、地元の森本敏弘町議と総務政策課を表敬訪問。町長のサイン入りバナント、協賛金を受取りました。また「被爆者募金箱」設置のお願いもし、置いて頂ける事に。 「ヒバクシャ国際署名」役職署名についても、後日サインを頂ける事になりました。集会では、地元代表の小畑さんが挨拶。県平和行進実行委員会からも県内平和行進について報告しました。今年も地元9条の会「9条タペストリー」が庁舎前広場に掲示されました。来賓として、裁内美和子町長が「74年前の惨劇を繰り返さない様に、世界平和が続く様に、平和の意識をより大きく広げましょう。」とえいきつをされました。昨年同様、総務政策課長や職員の方も参加されています。森本町議は、核不拡散条約（NPT）準備会では「核の無い世界を」に向けた議長勧告文書が採択された。核兵器禁止条約への署名を日本政府は早期に行うべき、美浜町議会でも意見書をあげる努力をしたいと連帯挨拶をしました。そして、わかやま市民生協の南さんが決意表明。最後「青い空」を歌い平和行進です。裁内町長には庁舎前の沿道迄歩いて頂きました。集会・行進参加者は30人。本日の平和行進は、由良町です。

原水爆禁止和歌山県平和行進実行委員会・事務局